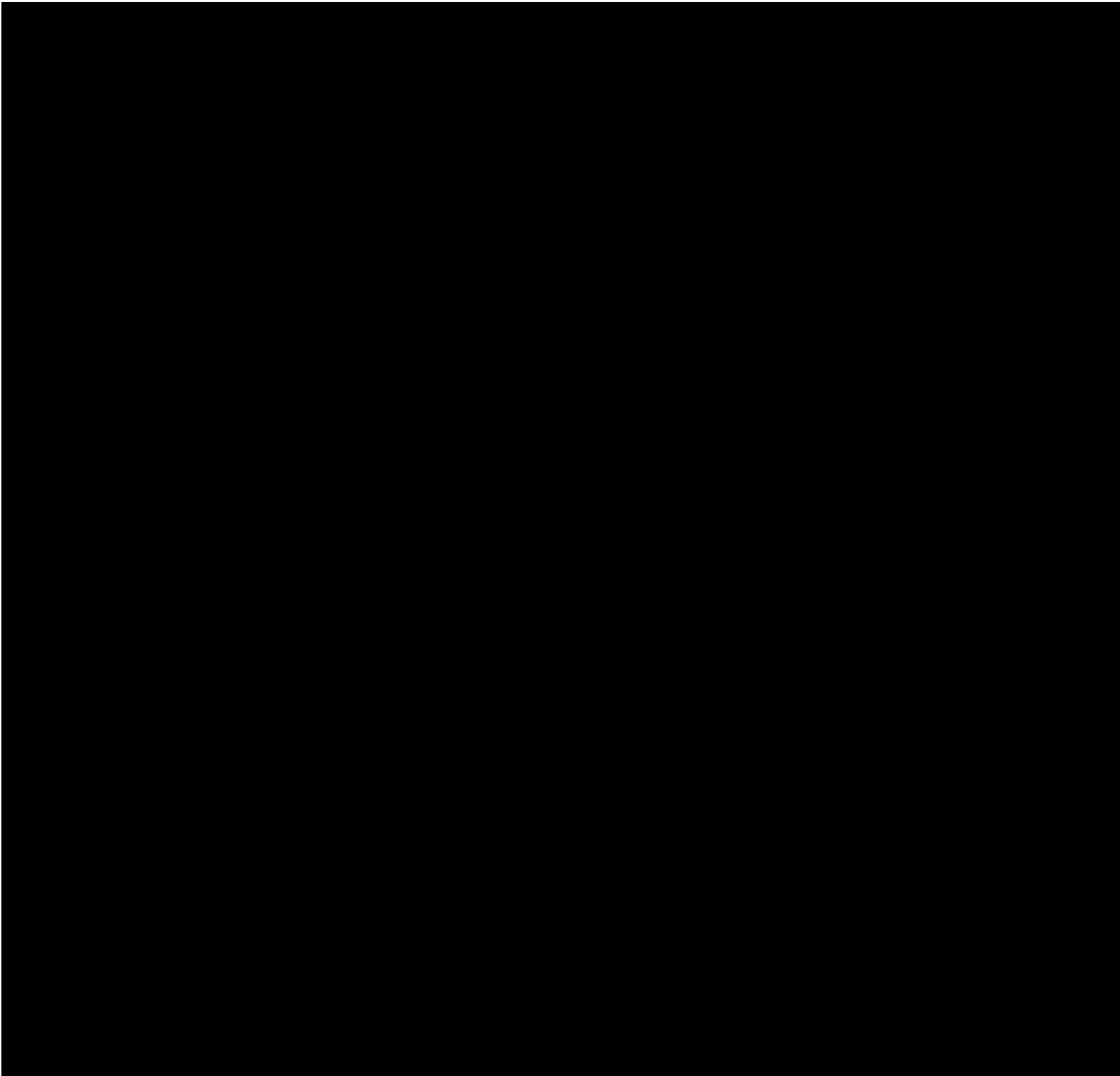


2026年度大学院博士前期課程学内選考試験問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 人文学専攻 哲学歴史学専修	英 語 (No.1)

次の英文を読み、それぞれの設問に答えなさい。なお、哲学歴史学専修の哲学分野を希望する人は【 問題Ⅰ 】を、哲学歴史学専修の歴史学分野を希望する人は【 問題Ⅱ 】を選ぶこと。

【 問題Ⅰ 】 次の英文を全訳しなさい。（下線部については文末注を参照のこと）



2026年度大学院博士前期課程学内選考試験問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 人文学専攻 哲学歴史学専修	英 語 (No.2)

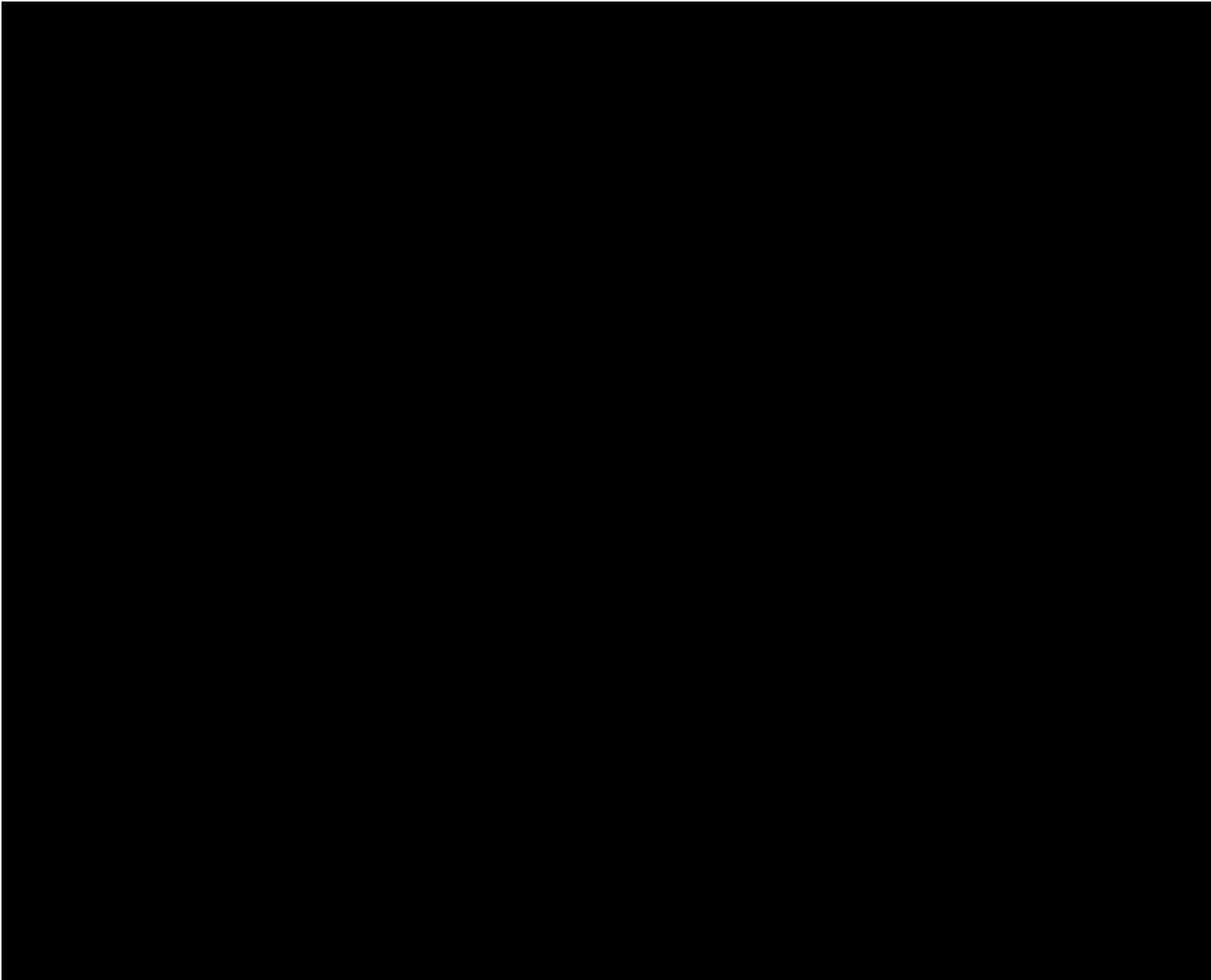
-
1. Weisse Christian Hermann Weisse(1801-1866) クリスチャン・ヘルマン・ヴァイゼ
ドイツの宗教哲学者
 - 2.tenet 主張
 - 3.anticipate 先取りする
 - 4.Ranke Leopold von Ranke(1795-1886) レオポルド・フォン・ランケ ドイツの歴史家
 - 5.exfoliation はがれ落ちたもの
 - 6.manifestaion 発現
 - 7.Georg G.Iggers ジョージ.G.イガース (1926-2017) アメリカのドイツ史研究者
 - 8.depreciation 軽視
 - 9.the Baden neo-Kantians バーデン学派の新カント派哲学者

出典：Thomas E.Willey , *Back to Kant*

2026年度大学院博士前期課程学内選考試験問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 人文学専攻 哲学歴史学専修	英 語 (No.3)

【 問題Ⅱ 】 次の英文を全訳しなさい。



註
primacy: 最重要(であること)、優位性
heretic: 異端者(比喩的に、支配的な考えに反する者)
propound: 提唱する、提議する
propitiously: 好意的に、順調に
dictum: 定言、(権威ある)意見

出典: E. H. Carr, *What Is History?*

出題意図および採点のポイント：

【問題Ⅰ 哲学分野】

大学院における哲学及び哲学史研究のために必要な文献を読解できる語学力を測る。哲学及び哲学史で用いられることの多い用語(外国語)の理解を確認し、また専門文献の読解のために必要な哲学史に関する知識を問う。

【問題Ⅱ 歴史学分野】

大学院における歴史学研究のために必要な文献を読解できる語学力を測る。歴史学に関わる主要な語彙や用語（外国語）の理解を確認し、また専門文献の読解のために必要な歴史学に関する知識を問う。